

# バストス週報

第1526号  
昭和五十二年  
八月二日  
毎日発行  
Diretor  
Koiti Mori  
Redator  
Shoho  
Miyatake  
Rua 10 de  
Novembro 882  
C. Post. 112  
Fone; 340  
Bastos  
E. S. P.  
Annual  
Cr. #  
85.00  
前金 Adiant.

潮騒 32

## 偽証

○人は誰でも虚言(うそ)を言う。古今東西を問わず嘘をつくのが人間なのである。大昔イスラエル人がモーゼに率いられてエジプトを出国し、紅海を渡渉して、イスラエルとエジプト係争の地シナイ半島に上陸して間もなくモーゼはシナイ山に登って、エホバの神から「十戒」という神託を受けている。つまり、人間と人間、人間と神との法律である。その中にエホバの神以外に神はないのだから、他の二把神を信仰してはならぬ。汝ら父母を敬えとか、人を殺す勿れとか、汝姦淫する勿れとかの中に、「汝、その隣人に対して虚妄の証述(あかし)をつるなかれ」という一条がある。人にならぬことをはならぬぞと、重大な警告を発しているのである。すでに千五、六百年も前に人道の福音になる「虚言」に一本の釘を打ってあったのだ。

○日本人はよく「ウソ」をつくとペルリ総領事の言いかう評判がわるく、とくに悪意があるわけでもあるまいが、口舌をいさす風習があったのであろう。

○そういえば、こんどのロッキード収賄事件でも、証人として喚問された全日空、丸紅のエンジニアたちは一人のこらずウソをついている。当社はウラ金や、やみ金は一切受取っておりません。存じませんが、正規の手数料以外にあやしい金は受取っていないと、皆主張している。

しかるに、いよいよ証測をつきつけられて、言いかれが出来ず、首めろめろとウラ金の事実をみとめた模様である。そうなるとう偽証罪が成立する。正規のやり方法にふれる。ということになり、全日空、丸紅、の主幹部は、ほとんど全員が逮捕されてしまった。全部で十一人逮捕されたのだから、何んともけや取手(こら)ことである。

○全日空で正副社長、経理上司が三人と計五人が外(外国かわせ)法違反にふれ、二人が賄賂収次にふれていることは、全日空社が運輸省管内の企業で法人との交流が密接であったことを宛実(あや)に示すものであることがよく判る。若狭社長や渡辺副社長はロッキード村東京支社長クラッターから大聖エアバスを十機購入しており、口社以外の米航空機製造会社の契約を破棄して口社のグライスター機に買い替えることについては、政府高官の買収というきめてが必要であったのであろう。又官吏の外、自民党乃至周辺の代議士などを取り込むことも必要であった。

○ニクソン前大統領が在職中、田中前理とハワイで会談したときニクソンは田中ロッキード社の航空機を買ってくれと、直接高談に及んだことは今や有

## SUPER MERCADO TARODA

Rua Adhemar de Barros 175. Fone 16 Bastos S.P.



買いよく何でも揃って安い店  
内外雜貨、食料品一切 飲料水  
電気及び水道用具、炊事用具、  
食器、台所用品 陶磁器、カス  
酒類、カンヅメ類一切  
郵便局の遠い方のために、店頭にてニヒン  
ホスト、及切手もありますから御利用  
下さい。

アテマルデバロス街一七五番地  
スベルメルカード

太郎屋嘉加工門  
電話 十六番

## FLORA BASTOS

T. MORIMOTO & FILHO LTDA.  
Rua Duque de Caxias 524. C. Post. 171, Fone 29

### 森元苗木本舗

電話 二一九番

将来に備えて果樹園の計画を!!  
果樹園に成功の鍵は苗木の選定が左右する  
苗木のことなら農林省公認の

バストス森元苗木本舗へ  
御相談ください  
只今シチオを巡廻し之居ります宜敷く願います  
全箱の有名蘭園と特約して良種を安価提供中  
園芸に関する苗木類一切を取扱って居り  
ます。花の苗木、庭園用樹、鉢植用、  
盆栽用、花木類一切あります

な産品となっている。当時ニクソンの政治資金は口社から提供されていたので、ニクソンはベンデールとして口社のために働いたのであるが、日本は自国製と決定していた自衛隊の航空機は、いつのまにやら口社製輸入と置き代えられてしまった。ニクソンの力が田中を動かして、田中の政治力が自衛隊の幹部を動かしたことは想像にたたくない。そこへ口社の資金が流れこんでいる事実が判ったとすれば、それらの金が政官界のどの辺へばらまかれたか、ついで興味を引かれるのもやむを得ないのではなからう



か？、さて、その金が児玉の手を経てゐるか、丸紅方面からか、その金はこれから明るみへ出る問題で、関係者はさぞかくかくしていることだろう。ただ問題は、取次人が「」を割らない場合、収賄者が知らぬ存ぜぬと突つ跳ねる場合である。検察当局では、丸紅の如く、「ピーナツ」とか「ピーナス」とかという陰謀で金の受取りをみとめたか、その流れ先きを明白さへる法的権限があるものだろうか。児玉のような人物なら、ひとりで罪をかぶる覚悟で頑として口をつぐむかも知れない。

若狭全日空社長などは行動半狂がきまつてゐるので運輸、通産方面と口角がほぼ見当がつくので、のがれられない。

○議会の証言で、偽証罪で告発されれば胆玉の小さい人間なら、ただそれだけで、すくんでしまふが、児玉のような「直訴」をくわだてたぐらい胆力があれば、その簡潔には落城せぬかも知れない。

ロッキード社のコーチマン前副社長は、「日本政官界の要人を買収するために送つた金であるとはつきり賄賂をみとめ、且つ証言してゐるので、どういふ形で収賄したか、そりや知らなんだと云う程のナンセンスは先ずないだろう。送金費の一部としてアシユエグしてもらつた程度なら、自民党代議士なら、全員全部ではなからうか、収賄か運動費かはじめのつかぬものもあるだろう。」

○丸紅商法と云うのは、前々から定評があり、大商社らしくないもよみのわるい商法をする企業である。三井、三菱に追いつけ追い越せをモットウにして、儲かることならピーナツでも売ろうという商魂である。逮捕された松山前会長が社長時代には買ひ占め、売り惜しみで商品の値上げを待ったと小売商人なみのあくどきで、当局の手入れにも合つたこととがある。そういう作動が御国のためだと放言する松山前会長のことだから、飛行機で手数料をかせぐのは当然贈収賄の手法材などにぬかりがあるものか。「ピーナツ百個領収」が何のことやら判らず、只「買収されたからアシーナしました」と、議会で証言した。伊藤丸紅前専務専務など、そういう証言をして国会をひねろうとし、国民を小馬鹿にした愚漢だとしか云いようがない。

○全日空からは五人も大幹部が逮捕されているので社員も大弱わりだろうが、若狭社長、渡辺副社長など関係官庁に出入りし、高官たちと親しくしてゐたというから、怪しまれるのは当然だが、多額の金をホルソに突っ込んで、札ひらきを切つて高官を誘惑したたろうことは想像される。しかし全日空の沢村専務、青木久親経理部長、植木忠夫営業部長、などは、親分から極秘命令があつたからだろうが、ウラ金などは扱つたことはいりません、など堂々偽証して摘発されてゐるが、何と馬鹿々々しい話である。

○逮捕された十一人が十一人とも「ウソ証言」をやつてのけ、検察庁で「ウソ発見機」にかけられたように自然したところなど、全く手のかかる連中である。何とかして逃れようとする心理だろうが、こういう連中が居るから、政治を害するのである。むろん受取る方も悪い。

中には代議士の方から堂々マイナイ寄越せと催促

### AVISO de HOSPITAL de BASTOS

病院よりお知らせ

皆様待望の



## 眼科専門医

眼科を開設致しました

診療日は毎月第一金曜日と

第二金曜日です

## 海野勲先生

治療の外眼がねの度も調べます

又眼の手術もいたします

## バストヌ病院

### 各位

のも居るといふから、政治家の不潔と云う点も見のがすことは出来ぬ。それといふのも、政治家は金が要り過ぎると言ふこと……これが根本的なあやまりの因だ。金のかからぬ政治などというものは望み得ぬことだろうが、政治家はウラ金の余得があると、この間に社会的打ひずみがあるらしく、資本主義社会や、国家にとって、是正しようのない欠陥とでもいふべきものであらう。

○それにしても、「知つてゐることを知りません」といい、「受取つたものを、受取らぬ」といふウソは愛らしくない。四月馬鹿のよう打ウソなら笑つてもすまされるが、国家を掲げて緊張し、腫目してゐる中で大切な問題を「偽証」は大きな罪悪である。 糸 音

## 長野だより

長野県人会だより 第四十九号 七月五日

森元 廣 林 誠 撰

○日本タイの女子走幅跳び (四月二十六日)

津島江(上田出身)さんは県春季大会女子走幅跳びで六メートル四十一の日本タイ記録を出し、六メートル三十五の五輪標準記録を突破してオリンピック出場切符を手に入れた。

○岡谷太鼓シカゴへ。(五月十三日)  
岡谷市の岡谷太鼓は七月米國建国三百年記念の世



界貿易展がシノゴで催され、それに日本の芸能として招かれることになった。この太鼓は同市の伝統的な飯訪太鼓で現在二百人の打ち手が居り、十五人が渡米する。

○斜面より、(五月三十一日)  
ブラシル産の信州そば、中国産のあんず干し・は既に有名(?)だが、中国、ソ連、北鮮のワラビ入り信州山菜となると、「ついこまで」という感じだ。この頃本格的に山菜採りとなると、北信は黒組から妙高方面へ、松本平は埴原まで足をのびさないと、というように少くなつた。

○總文時代の集団墓地 (六月二日)  
伊那市小沢の目見松遺跡に約八百に及ぶ總文時代の墓穴がみつかつた。話題になつてゐる。

○カシカ、かえる(河鹿)燈 (六月十五日)  
松本市の女鳥羽川には汚染で、カシカカエルがいなくなつた。と騒いだ旭町中の生徒の学校新聞に同情宮城県栗駒町の小学校では、昨年一五〇匹、親善大使として送り、今年は一、〇〇〇匹送つてくれるとのこと、旭町中の生徒は女鳥羽川の水をきれいにしてカエルが住めるよう浄化熱が高まつてゐる。

以上

## 大正四年頃のモンソン雑景

故 輪湖俊午郎氏著

村山はこの脱走船員あふに思い、食客として自分の家に置いたが、妙なことから山村に敵意を挟む様になり、移民の誘惑やら逃亡の援助など公々然と策謀を教へる様になつた。それでも山村は我慢して此の志願者に尚食客たるを許していたが、遂に乱暴まで働くようになった。流石に堪え兼ねて、追放する外なかつた。所が件の船員は再び此の耕地に現われ、「村山を殺すまでは動かぬ」とタンカを切り騒ぎ立てた。或はそうした間諜が生げぬとも限らぬと、不安に護られた移民達は激怒の余り、黒坊を使喚して或夜この不良船を射殺せしめて仕舞つた。そしてその死骸を耕地内に弄つた。迄はよかつたが、数日の後同耕地の外人移民によつて発見され、遂に警察沙汰となつた。此の事件は耕主の力で勿論問題とはならなかつたが、村山は後難を恐れ、ともかく一族郎党を率いて此処を退去し、移り来つたのが此のモンソン植民地であつた。

其の頃第一モンソンには二十数家族の日本人が居たが、其の中四家族を除く外は未だ入植後一年位であつた。モンソン開設は明治四十二年(一九〇九年)で二年後四十四年に六家族の日本人が初めて入植し、彼が行つた時は四家族残つてゐたが、此の六家族がサンパウロ州に於ける最初の邦人土地所有者であつた。

此の家族の一人は語つた。「私共は明治四十三年に渡伯したのですが、耕地契約の済んだ翌年鈴木さんが来て、君等は連邦政府のモンソン植民地へ行かんか、地味も気候もよく、その上非常に便宜があるから早く独立するがよい。僕が周旋してやると勧め

ますので、私共は成程と思ひ、全く鈴木さんを信用し、金なども預けました。所が鈴木さんは無備乗車券をくれ、汽車へ私共を乗せてから、そのまゝ何処かへ行つてしまひました。私共は西も東も解らぬおまけに所持金の大部分は鈴木さんに托してあるもので、どうなることかと心配でした。植民地へ着いてから手頃似足真似で、ともかく地区へ入りました。鈴木さんは其の後それなりでした。ひどい人ですよ。お蔭で植民地事務所が親切に世話をしてくれましたので、やつと助かつたようお話しです。

當時は独、仏人が数家族居たばかりで、森林は開かれて居らず、猿の群など朝夕家の近くまでやつて来たし、オンサ(豹)なども居つて、一人で森林へなど入る勇氣は出ませんでした。植民地の道路など通る人など殆んどないので、誰れか人らしいものが道を通過すると、家を飛び出して行つて見るといふ位淋しいかつたのです。」と追々四年前の状況を一つ一つ昔も前の事の様に語るのであつた。

彼は村山の家に居候をしながら、此の植民地の中央を貫流するバルト川に釣をしたり、時には秋山の手伝いをしてたりなどしてゐる中にその年十一月末となつた。植民地の農作物は米、豆、玉蜀黍の三種で、いずれも青々と元氣よく成育し、豊作を来しみにしてゐたが、或日の早暈か南方の天高く一点の雲の如きものが現われると、それが見るまに廣がり、殆んど全モンソンの空を掩ひ、天日爲めに遮らる程となつた。何事かと人々は斂を休めて打ち仰いでいると、其の中にバラバラと音を立てて地上に落

## おしらせ

### 巡廻婦人講習会

来る七月三十一日(土)午前九時より総合会館に於て、サンパウロ伯日文化協会 巡会婦人会講習会が開かれます。

最非御参加下さい。

主催 サンパウロ伯日文化協会  
後援 バスト又日伯文化協会

### 講演会おしらせ

来る八月八日(日)午後八時より総合会館に於て、修養団の講演会がござります。めつたに聞かれたいお話しです。

皆んなでお聞きいたしましょう

(一行十名の訪伯中の先生です)

主催 修養団  
後援 バスト又日伯文化協会



ちて来た。それは万億とも知れぬ数の蝗軍で、彼ら畑に落つるや、すさまじい勢いで農作物を噛み砕いた。植民はあつげにとつて暫くは為す所を知らなかつたが、何とかして自分の畑だけでも追いやろうと金盞や石油の空錐など家から持ち出して、気の狂うほど叩き廻わつたけれども、追つた後へ大群が押し寄せた。中には馬に乗つて畑の中を一般に駆け廻る者もあつたが、所詮は徒勞に終つた。

植民の一人は坂口と云う天照大神の信心家がいた。何うした訳か彼の畑へだけは蝗軍が下りなかつた。感極まらなかつた坂口は神棚に燈籠をあげて一心に祈り続けたが、何となく不安を感じたので、今度は天照大神のお札を畑の真中に立て、これで安心と、隣人の畑へ行つて涼しい顔をしていた。所が帰つてみると、畑は荒れ果て、僅かの間に坂口の豆畑も皆喰ひ荒つた。おまけに天照大神のお札まで噛み砕かれてあつた。坂口は怒るまいことか、お札を地上に叩きつけ、それ以後神信心はやめてしまつた。又或男は病に障るといふので、蝗を煮りあげて食つた。その翌日から下痢をして閉口して居た。

斯くて一週間はかりのうちに、凡そ農作物の青さを全部食ひ尽し、未だそれでも腹不足であつたのか、今度は植民地の家へ入り、布巾や毛布を噛り、原始の固い木の葉までバリバリ食つて居た。つい昨日まで汗をして居た玉蜀黍や稲の葉は口は噛み砕けなくなり、畑一面は見ゆる限り黄色に染つた。残つたものは南瓜の葉ばかり、植民地は毎日野菜かわりに此の南瓜の葉を噛んで居た。其の年の収穫が全く裏切られたので泣くにも泣けなかつた。せめてもの慰めはこのモンソン百家族の畑が全部一様に不公平なやられたことだつた。

此の報一度伝わるや独、仏、伊の各領事は自ら來植して各戸を訪問し、約半歳の食糧を補助して行つたが、日本の領事からは何の沙汰もなかつた。又誰も願ひもしなかつた。作付時季は既に過ぎているので、翌年二月まで、大豆が五月収穫出来るのを待つより外なく、どの植民も懐中は乏しかつたので、皆願を合はしては、「どうしたものですか」「困りましたな、愈々とすればマンザヨカです、何、死ぬめ氣使ひは打たせよう」と、こんな挨拶ばかりだつた。それでも案外に植民は落付いて居り、悲觀などしなかつた。

此の頃の植民は白米など買つて食う者は一人もなく、皆自家用は穀を搗いて白米とするので、夕方に斬ると、到る処で白の音がした。ところが、その穀も次第に欠乏し、白の音も段々遠のいて居た。村山村小こな子供が四人もあり、毎日豆と南瓜の芽ばかり食つて居るので子供らが、ママエ、米の御飯が食べたいと言つた。一軒置いて隣の西田さんで白の音がしたと子供が云うので行つて少々借りて来た。どこもかしこも斯うした状態の日を送つて居た。全く食う物が無かつた訳ではなかつた。最後にはマンザヨカがあるという強味があつた。更に人間は不思議なもので、寄るべなく同じ境遇のものか天涯万里でかかる天災に直面すると、旧社会に見るここの出来ぬ強かな相互扶助の感情が湧いて来て、それが皆の不安を一掃した。

モンソン雑景 (一)

生長の家八月の行事及会館使用日程

- 二日(月) 白鳩会
- 三日(火) 一家見真会
- 八日(日) 相白青合同役員会
- 二十二日(日) 伝導者勉強協議会 ツッパソ
- 二十二日(日) 講演会 長沢信一先生
- 二十三(月) 夜の誌友会

日伯文化協会八月行事及会館使用日程

- 追加七月十三日 理事代議員合同会議
- 八月二日(月) 定例理事会 会議室
- 八月(日) 講演会 修養園 サロン
- 九日(月) 中央区定例役員会 会議室
- 十六日(月) 少年野球定例役員会 会議室

日伯文化協会広報部

御礼

金一封 封也  
右御息女の御婚儀の御些かお手伝い致しました。御礼の意味で前記の御奇贈を頂きました。ありがとうございます。

西川 統平様  
ウニオノⅡ区男女青年団

金一封 封也  
右は、貴御移転に際して当区御奇贈下さいました。厚く御礼申上げます。

中浦 芳幸様  
夕ロリアⅠ区

こうして天災混戦の中にも青春の血はどれに係わりなく、求むべきものは絶えず求めて居た。村山の家の隣りに美姉夫妻が住んで居り、その姉に十六、七の一人娘があつた。名を寿永と呼び、いすれはよか婿を迎えて可愛がつて居た。小作りの丸顔で、あどけなく見えたが、肉付はよく、乳のあたりは年に似すふくらんで居た。時々芭蕉の蔭に独り佇み、何事かもの思ひに耽つて居るのを見かけたが、村山も、姉夫婦も別に意に介しなかつた。或る夜の事であつた。夕方一時時雨来たが、それもいつしか晴れて雲間に月が皎々と輝いて居た。夜中と寝ぼけし頃、隣の姉夫婦が「寿永が居ない」と







# 開植四十八周年祭第一回祝賀ゴルフ大会

## 寄附者御芳名並に収支決算報告

収入の部		支出の部	
Sr. Profeitura Municipal de Bastos	1.000.00	Relojoaria Shibata 4 Tolfeu	500.00
" Hideo Ohono	500.00	" Takata Nca 8400	837.00
" Yoshio Tsuru	500.00	Casa Komoda Nota 117580	912.00
" Toshio Ikeda	360.00	Loja Economica " 17003	486.00
" Ração Sôya	200.00	Casa Maeyama " 135823	204.00
" Banco America do Sul	500.00	" Matespel " 8074	25.00
" Cooperativo Bastos	300.00	Bazar Pombo " 21384	7.50
" BRATAC	1.000.00	Matespel " 8100	40.00
" Shoji Mizuma	500.00	Casa Taroda " 39544	92.00
Dr. Goro Ohono	500.00	1 Livro de ATA	20.00
Sr. Yamon Sato	200.00	Sr. Yoshi maro Sakita 謝礼	300.00
" Guenjiro Inoue	300.00	70人分 ランシエ	500.00
" Shigueru Shida	4.000.00	1 Talão de cheque	4.00
" Hirayuki Turu	500.00	週報広告代	90.00
" IMCOBRAL 4 Tolfeu		支出総計	4.017.50
" Okamoto 4 Tolfeu		差引残金	4.002.50
66 peça de Rancho	660.00		8.020.00
	8.020.00		

主催 バストス老童会

後援 バストス市役所  
バストスゴルフ倶楽部

### 勸進元へ下さる花の御礼

入植祭演芸会勸進元  
去る入植祭演芸会の際に左記の方々から過分の  
御花を頂きました。ありがとうございます。

親に心配をかけぬことが孝道の最大という。第一  
世たちは渡伯当初の不自由な生活の中でも、自らは  
日本の国民であることを誇りとし、おのれ一人の  
不身持が、ひいては日系人全体の信用を失なう國と  
考え、忍苦の末今日の信用を得た。  
一人の二世の不心得が、二世ばかりか、日系全般  
の悪評を興う要因となりかねない。今回の悲惨事、  
数名の重傷者と一名の尊い犠牲者を無駄死させるこ  
となく、飲酒運転とか暴走者が幾分減るならば、勝  
岐信子さんをはじめ、重傷者数名の幾分慰めとた  
るであろう。  
自動車は文明の利器として無くしてはならぬ便利な  
ものであるが、この便利な車の為め、人を傷つけ、  
或は自らの生命を断つ恐ろしい凶器ともなる。運転に  
僅かな油断がその運転者の一生を台無しにもする凶  
器であることを忘れてはならない。話が横道へ外れ  
たが、新来日系商社マンのご迷惑を重々おわび申上  
げる次第である。

小野 志	様	谷口 秋子	様	大倉 重吉	様	清家 重吉	様	谷崎 喜一	様	多子ナ大西文吉	様	中浦 三司	様	山中 三郎	様	石橋 敏子	様	小澤 養鶏場	様	奥田 耕	様	加藤 誠治	様	星野 トシ子	様
谷川 小田 辰介	様	梶 川 辺 イサノ	様	郷 原 章夫	様	井上 源二郎	様	ホテル 宇佐美	様	星 宇佐美	様	河 西 静男	様	大 塚 孝夫	様	池 戸 孝夫	様	横 田 千代香	様	萩 原 千代香	様		様		様







既に超満員となつていた。今晚は愈々芝居が見られろというのでリノボリス、オズワルド、イヌビヤ、ルベリア、アダマンチーナ、ソロカバナ方面からの見物人も多かた。

「恩愛双葉峠」五幕は再発定をした演劇研究会の演物で、全身の熱演が好評を呼んだ。また昔日の入植気分を盛り返していた。

話が横道へ外れるが、芝居が一晩だけだったので、家族交替で演芸会に来ると留守居をした者は芝居見られなかつたので、劇老会主催でも一度全館で再演して、一般の人にも見せて貰えないものであろうかと云う声もあちらこちらで聞いた。

舞踊も今年はずよく出来て観客を満足させた。又尾上菊昇師匠(光石たけのさん)が二十四日一晩だけ出演した。斯道一筋に六十年鍛え抜いた芸で、指す手引く手、足さばきは神技と云うべく、民間国宝的存在だ。バストスなればこそ、こうした名匠の芸を見られるが、他邦ではいくら金を払ってもこんな妙技は見られまい。

毎年入植祭の敬老会席では師匠が特別余興に出演してくれたが、何分師匠は病身であり、高齢者であるので、今年の敬老会ではどうであらうか。ついでに友谷和子師匠の芸について一言触れて、バストス舞踊舞先端を担つて居る彼女への贈りものとした。

数年前から師匠はどういう訳か男踊を舞台にかけろようになつたが、女踊りにあれば立派な芸を見せる彼女が男踊りになると、力が足りないと云うか、ピリッとした所がないので、彼女に何ぞ女踊りを踊らうのかと訊いたら、

「近頃急に肥り出して、女踊りには似合われないと思つたので、」と云うことであつた。しかし、昨年の入植祭に歌舞伎所作壺坂靈驗記の澤市の女夫万才を舞つた時から急に芝の重みが増え、今年の踊り格別の上出来であつた。伯国随一の名匠を母親に持つ和子師匠だ、やがて母親に負けない芸を身に付けるであらうことを疑われない。御精進を乞う。

ついでにもう一つ惜まれ口をきいてみよう。演芸会プログラムの中にサンパウロの山内とか内山とかの門下とい名で二日とも踊の題名があつたが、廿五日の晩には踊らなかつたようだ。番組の偏成に頭を痛めた委員達の苦勞を免脱して、拍角申込んで置きながら、踊りたくなければ勝手にやめてしまふとは何事だ。芸人の風上におけない、いやな奴だ。

ともあれ三日間にも及ぶ祭典には委員達をはじめ連合青年団、各部門担当者の犠牲的奉仕がなくては決して実現できろものではない。バストスの入植祭は近郊の名物だが、その難しの陰には揚の下の力持的多数の人達の奉仕の力が数万の人を誘つたものであろう。故本田正雄氏は「在聖バストスの青少年にふるさとを忘れさせろな。入植祭を盛に行おう。そして「移民のふるさと」の名を永遠に人の記憶から去らしめな」と、又今年からバストス名物が一増えた。それは祭典三日間に多勢の人が押しかけた「間拓館」である。他郷に類を見な移民史七十年を回顧するこの出来る史料収集に身命を賭けた老人達の魂がこもっている。今改めて老人方へ感謝の意を表したい。

### 花の御礼

シマールカラ婦人会

去る入植祭演芸会に入演致しましたところ左記の方々から過分の御花頂戴しました。厚く御礼申上げます

- |         |         |         |         |         |         |         |         |
|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 | 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 |
| 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 | 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 |
| 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 | 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 |
| 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 | 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 |
| 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 | 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 |
| 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 | 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 |
| 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 | 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 |
| 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 | 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 |
| 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 | 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 |
| 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 | 板垣 榮局 様 | 菅野 三郎 様 | 吉田 清子 様 | 吉田 次夫 様 |

### 花の御礼

シマールカラ区

本田 たね子

去る入植祭演芸会に入場して左記の方々から過分の御花を頂戴いたしました。厚く御礼申上げます

- |         |         |         |         |          |         |         |         |         |         |         |         |         |          |         |           |           |         |         |          |         |    |
|---------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|-----------|-----------|---------|---------|----------|---------|----|
| 梶山 米子 様 | 遠藤 君江 様 | 清水 清子 様 | 宮武 勝南 様 | 天野 とみえ 様 | 有馬 佐保 様 | 水本 幸子 様 | 信太 節子 様 | 大谷 次郎 様 | 梶田 商店 様 | 守越 松江 様 | 本田 登子 様 | 石橋 敏子 様 | 郷原 みよ子 様 | 柴田 高美 様 | 梶山 シュリ子 様 | 柴田 リステラ 様 | 梶原 信子 様 | 伊藤 時子 様 | 本田 みえ子 様 | 若野 耕一 様 | 以上 |
|---------|---------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|---------|-----------|-----------|---------|---------|----------|---------|----|

### 花の御礼

真野 美恵子

- |           |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |         |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 岡本 王ト 代 様 | 阿部 幸子 様 | 上野 邦子 様 | 藤井 誠子 様 | 阿部 幸子 様 | 上野 邦子 様 | 藤井 誠子 様 | 阿部 幸子 様 | 上野 邦子 様 | 藤井 誠子 様 | 阿部 幸子 様 | 上野 邦子 様 | 藤井 誠子 様 |
|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|



# 戦前の入植祭の演劇

八十年周年記念祭の芝居の思い出

あれはたしかに入植十周年の祭典であつたと記憶している。正月早々に今は故人となつた落穂作市氏と朝日勇次郎氏が来られて、今年の入植祭の芝居は本格的にやることになつたので、今歳一練会館へ役者達一同集まつて芝居をさのろることになつたので、君も一役買つてもう、これは是非出席してくれと頼まれたので、夕食一練会館へ出かけて行つた。

集つたのは川崎鉄五郎、落穂作市氏、朝日勇次郎氏、青木茂氏、中村平四郎氏、安藤一夫氏、山中三治氏、藤原荒次郎と私に失名したが伊藤景位いであつたと記憶している。色々相談の結果、飯沼手本忠臣蔵三段目の喧嘩場、四段目の切腹場、五段目の山崎街道猪打ち場、六段目の勘平切腹場、九段目の本流下郷、それと船橋木千代萩政岡忠義の段、御殿場と対決場、及菅原伝授手習鑑、寺小屋の段などと決定した。

翌朝から書抜きが始まり、書抜き全部終り、稽古にかかつたのは三月に入つてからだ。稽古は毎晩で休みなし。歌舞伎だから淨瑠璃の出語りとなるので、一人では列位語り続けることは出来ないのをアルト区から宮内耕平氏を呼んで来た。山中三治氏、大道具小道具作りで一生懸命だし、舞台の遠見とぶすを張り、サンパウロから三角米(この人は大阪市の千日前の角座で背景機をして居て、かきわくは本職であつた)が来て、上田工場で背景を毎日描いてた。

この頃は歌舞方の方では大紋長袴、千代萩の内子カケ敷着、床山は御殿女中のシイタケ夕ホというマダの力ズラも出来ていた。毎晩早くかつ稽古場で太極の三味の音締の所えたバチはさか夜半迄続いていた。

五月に入つて間もなく産業組合の二階で伯光團一行の歌舞伎が、本田正雄氏の受元で上演されることになつたが、朝晩伯光團の芝居だという時稽古が終つて藤原荒次郎氏が「俺は朝晩稽古を休ましてくれ、伯光團の芝居を見に行き、後で寺小屋の源流の役で教えて貰いたいことがある」というので、その晩全員で見物に行つた。

潮しものは(かさねの土滴)と傾城阿波の鳴門)であつた。土滴は前昇師匠がかさねを心憎いほどの演技を見せだし、鳴門では師匠のおろ、和子師匠がまたハオカハオ位で可愛らしいお鶴を演じた。「アイ、うれしうはこさんすれど、恋しい父とさんやかかさん、たとえ何時までかか、こも尋ねようと思つけれど、悲しいことには一人旅して、どここの宿でも泊めてはくれず、野に寝たり、山に寝たり、人の軒の下に寝ては、た、た、がれたら、こ、こわいことや悲しいことよ、ととさんやかかさんと一緒に居たりや、こんな目には逢うまいものを、どこにどうして居やしゃんすぞ、逢いたいことじゃ、逢いたい、」とおろのの襟に取りすがり泣き出すお鶴を抱きしめ抱きしめ、

# 花の御禮

バスト又婦人会

私達、去る七月の入植祭の節演芸会の団体舞踊に出演致しました。処左の方々より過分な御花頂戴しました。紙上乍ら厚く御礼申上げます。

- |       |         |         |         |        |        |        |         |         |         |         |         |          |          |          |         |          |         |         |          |         |          |         |          |          |          |             |          |         |          |         |          |          |          |          |          |       |          |            |           |          |          |         |           |          |            |          |
|-------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|---------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|----------|-------------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|----------|------------|-----------|----------|----------|---------|-----------|----------|------------|----------|
| 植原 信子 | 榎 古田こぶさ | 榎 森越 松江 | 榎 小田 香江 | 榎 太田 縁 | 榎 東 絹子 | 榎 小野 志 | 榎 伊藤 綾子 | 榎 味野 艶子 | 榎 伊藤 時子 | 榎 清家 ろみ | 榎 伊藤 砂子 | 榎 別府 夕マ子 | 榎 フォット島本 | 榎 別府 夕マ子 | 榎 柴田 高美 | 榎 ホテル宇佐美 | 榎 谷 口 章 | 榎 宗 儼好子 | 榎 小茂田 商店 | 榎 梶田 商店 | 榎 磯谷 思寸恵 | 榎 早川 栄松 | 榎 東 中 豊子 | 榎 小澤 養鶴場 | 榎 田 中 豊子 | 榎 山 口 フルマシマ | 榎 坂 口 ツネ | 榎 竹内 郁子 | 榎 風 間 定乃 | 榎 梶山 米子 | 榎 遠 藤 君江 | 榎 篠崎 才八郎 | 榎 豊 島 喜一 | 榎 上 西 君子 | 榎 藤 井 敏子 | 榎 池 戸 | 榎 早 川 君枝 | 榎 郷 原 美代子妹 | 榎 河 本 千エ子 | 榎 石 橋 敏子 | 榎 工 藤 春枝 | 榎 水 口 修 | 榎 豊 島 すすえ | 榎 宮崎 写真館 | 榎 宇佐 美 美南子 | 榎 鈴木 まつ乃 |
|-------|---------|---------|---------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|---------|---------|----------|----------|----------|---------|----------|---------|---------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|----------|-------------|----------|---------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|-------|----------|------------|-----------|----------|----------|---------|-----------|----------|------------|----------|

と言ひ、ふて観客の涙を誘つた。これからは役者の芝居の力だ。おろは腰の巾着から金を出し紙に包んでお鶴に持たせ、「こなたかいかほど尋ねても、頼も所も知れぬ親たち、逢れぬ時は詮ないこと。も尋ねずと、そのば様の方へは行かぬと、お、つ付父さんや、おんか逢いに、行つては、ほどに、国へいんで待っていろがよいぞや」

「あいあい、そんならも参ります。かたしけのうござります」と泣く泣く立つを引きとどめ、「これ、もしにやるか、名残が惜しい。別れとうもない、これ、今一度顔を、から云に入り、第三番の御詠歌「父母のめぐみも深き新川寺」までに行る云に観望れ一人として泣かない者とてなかつた。

この鳴門で千秋楽の所を大入の御礼として菊昇師匠が特別に紀の国五一舞踊した。見物人が婦人、紅度をして居る間に舞は取り片付けられ、衣裳も全部たたまれていたので驚いた。藤原さんは、「みんな、あの芝居を見たか、これから皆さんで花移に行つて教えを乞おうじゃないか」と言った。



# ADVOCACIA MATSUBARA

Rua Oswaldo Cruz 894 - East. E.S.P. Fone-454 e376

DR. HILTON BULLER DE ALMEIDA (ADVOGADO)

DR. MASSAHAR MATSUBARA (ADVOGADO E ECONOMISTA)

CIVEL-CRIMINAL-TRABALHISTA

辯護士、経済学士 松原雅春

松原法律会事務所

民法 刑法 労働法 商業手続

ルア オスワルド クルス 八九四番 電話=四五四番 三七六番

# NOSSA BELOJOARIA

Rua Adhemar de Barros 213 Fone: 154 Bastos S.P.

TAKAMI SHIBATA

ルア アマル デ パロス ニー 三番  
レロージュ アリア タカミ

高級腕巻時計壁掛及ホルン用  
カラーテレビ  
ステレオグラブドル  
超小型電子計算機  
電気マシナ機・蓄音機・ラジオ大小各種  
写真機・シネミリ・幻灯機・カスライタ  
電気ヒゲソリ機・ユビワ・宝石類  
メカネ・銀器・高級陶磁器・拡声機  
室内荘飾用具いろいろ・アセソリオ  
贈答用品・おみやげ用品其他  
記念品等プレゼント用品一切  
のすべしものを常に仕入れて皆様の  
御来店をお待ち致して居ります

柴田時計店  
電話 一五四番

# Anúncio de Cine Bastos

八月一日(日)九時半 二日(月)八時  
監督 山下耕作  
東映極 不良番長  
内田朝雄  
大木実  
梅宮辰夫  
渡瀬恒彦

八月六日(金)八時 七時 九時半  
監督 山下耕作  
東映 男の代紋  
高橋英樹  
三矢歌子  
南利烟  
大木実  
待田京介  
嶋田正伍

八月八日(日)九時半 九日(月)八時  
監督 恩地日出夫 東宝四十周年記念作品  
東宝 恋の夏  
ルノーベルレー  
小川知子

八月十三日(金)八時 十四日(土)九時半  
監督 田村高廣  
東宝 恍惚の人  
森繁久弥  
田村高廣  
音羽信子

八月十五日(日)九時半 十六日(月)八時  
監督 河崎義祐  
東宝 青い山脈  
三浦友和  
片平なぎさ  
田中健  
星由里子  
野村武範  
中野良子

八月二十日(金)八時 二十一日(土)九時半  
監督 松林健  
東宝 燃えろ青春  
黒沢年男  
竜雷太  
夏木陽介  
星由里子  
京塚昌子  
東野英治郎

日本に青春をもたらした石坂文子の不朽の名作を魅力の豪華キャストで完全に映画化し、  
こめねん先生、女学生の橋通洋、次々に起すたすつ時間攻撃ノ、

有吉佐和子の名作 完全に映画化

信州の木曾路に男の怒りが吹き荒れた高橋英樹のドスの眼ノ

愛にまよふというなげにあまりにも遠く二人だったのに、大陽がたぬらういそとわして海風が二人を誘った、それは忘れられない夏ノ